

# 大阪府 少年サポートセンターだより



〈第 32 号〉

令和7年7月

バックナンバーはこちら 大阪 サポートセンター 検索

<https://www.pref.osaka.lg.jp/koseishonen/syounensupportcenter/>

大阪府少年サポートセンターは、大阪府内に10か所あり、それぞれに大阪府警察が「少年育成室」、大阪府が「育成支援室」を設置し、大阪府教育庁を含めた三者が連携して、非行防止や立ち直り支援など、少年の健全育成のための活動を行っています。

『少年育成室』では、大阪府警察本部の職員が「街頭補導活動」・「継続補導活動」・「少年相談活動」・「広報活動」を行っています。

『育成支援室』では、大阪府の社会福祉職であるケースワーカーと青少年健全育成推進員を配置し、一人ひとりの状況に応じた様々な立ち直り支援活動を実施しています。また、学生ボランティアの支援サポーターも活動に参加しています。

併せて、大阪府教育庁と連携して、「少年育成室」に配置されているスクールサポーターと「育成支援室」に配置されている青少年健全育成推進員により、府内の小学5年生を対象に「非行防止・犯罪被害防止教室」を実施しています。

## ● 少年サポートセンターの取り組み

各SCの取り組みを紹介します。今号は「**池田少年サポートセンター**」です。

### ○ 少年育成室(大阪府警察)の活動



池田少年サポートセンターの少年育成室では、豊能、池田、箕面、豊中、豊中南の5つの警察署のエリアを担当しており、継続補導による立ち直り支援を重点的に活動しています。

特に近年では、再非行リスクのある少年に対し、心理職による資質調査や面接指導を通じて継続的な支援を行っており、センターには公認心理師等の資格を持つ少年補導職員が配置されています。また、地域との連携に基づき、学校や家庭からの相談対応、関係機関との情報共有を進めることで、個別のケースに即した非行防止対策を実施しています。



一方、街頭補導活動としては、池田・箕面・豊中などの各警察署と連携し、少年が立ち寄りやすい公園、商業施設、飲食店等における不良行為の未然防止に努めています。

最近では、SNSを通じてつながった若者が深夜に繁華街へ流入し、薬物の過剰摂取や援助交際、金銭目的のトラブルに巻き込まれるケースも目立っています。

こうした背景を踏まえ、より身近に相談できる環境づくりとして、チャット形式でのLINE相談窓口アカウントも創設しました。少年や保護者からの声を受け止め、必要な支援につなげられる体制を整えていきます。

その一環として、2025年7月には江崎グリコとの連携により、相談用二次元コードをグリコサインに表示する広報活動も実施しました。

このほか、育成支援室とともに、少年警察ボランティア等の協力を得まして、立ち直り支援活動(たけのこ掘り)も行っています。

これからも地域と協働しながら、“非行させない・繰り返させない”ための支援拠点としての役割を果たしていきます。



〈立ち直り支援活動(たけのこ掘り)〉

## ○ 育成支援室(大阪府)の活動



池田少年サポートセンターの育成支援室が行う立ち直り支援では、少年に対して生活の振り返りや反省を促すだけでなく、少年が興味・関心を示し、ケースワーカーがその立ち直りに必要と判断したものを、体験活動という新たな学びをはぐくむ機会として提供しており、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町を担当地域としています。

さらに、担当地域5市町に摂津市を加えた6市町の小学校に出向き、5年生を対象に「非行防止・犯罪防止教室」を少年育成室（大阪府警察）と連携して開催し、非行の重大さに対する理解や犯罪に巻き込まれないための行動を児童に直接語りかけています。

今回は、立ち直り支援として実施している体験活動の一つで、毎年春に地域の方々と一緒に行う「たけのこ掘り体験」をご紹介します。

参加少年は、たけのこの産地として知られている千里丘陵まで移動した後、広大な竹林の中に入り、地面からわずかに顔を出す、たけのこの穂先を懸命に探し、地域の方々に掘り方を教えて貰いながら、途中で折らないよう慎重に掘り進め、大きなたけのこを次々と収穫していきました。

その後、収穫してすぐのたけのこの下処理を行って、たけのこご飯と豚汁を作りました。参加者全員で自然の中で力いっぱい身体を動かし、最後まで真剣に取り組んでいました。自然と触れ合いながら、『試行錯誤しながらも挑戦し続けること』『周りの人間と協力しながら物事を進めること』の大切さを学ぶ、良い機会となりました。



『土の中に埋もれているたけのこを見つけ、みんなで協力して収穫をする。みんなで一緒に調理を行い、最後はみんな一緒に同じ食卓を囲んで同じものを食べる。』

この一連の体験は、少年にとってはかけがえのない時間です。この活動を通じて、試行錯誤しながら自分で挑戦し、協力し合い、喜びを分かち合うという、少年にとって思い出深い行事となりました。

## ● 少年サポートセンターの連絡先一覧

|              |       |              |               |       |              |
|--------------|-------|--------------|---------------|-------|--------------|
| 中央少年サポートセンター | 育成支援室 | 06-6772-6662 | 枚方少年サポートセンター  | 育成支援室 | 072-843-1999 |
|              | 少年育成室 | 06-6772-4000 |               | 少年育成室 | 072-843-2000 |
| 梅田少年サポートセンター | 育成支援室 | 06-6311-0660 | 八尾少年サポートセンター  | 育成支援室 | 072-992-3301 |
|              | 少年育成室 | 06-6362-2225 |               | 少年育成室 | 072-992-3256 |
| 難波少年サポートセンター | 育成支援室 | 06-6211-0141 | 富田林少年サポートセンター | 育成支援室 | 0721-24-5510 |
|              | 少年育成室 | 06-6211-3400 |               | 少年育成室 | 0721-25-4922 |
| 池田少年サポートセンター | 育成支援室 | 072-710-3570 | 堺少年サポートセンター   | 育成支援室 | 072-274-2152 |
|              | 少年育成室 | 072-710-3617 |               | 少年育成室 | 072-274-2355 |
| 茨木少年サポートセンター | 育成支援室 | 072-621-4114 | 岸和田少年サポートセンター | 育成支援室 | 072-438-7735 |
|              | 少年育成室 | 072-625-6677 |               | 少年育成室 | 072-423-2486 |